

とっとり産業フェスティバル2009 ポスター発表要旨

テーマ	第二次・鳥取県の名水に関する調査研究
発表者	十倉 毅 鳥取環境大学 建築・環境デザイン学科 教授
概要	<p>地域環境の良さは、水と密接な関係にあり、水への関心は「地域の活性化、観光資源の発掘、余暇の有効利用のみならず、当該地域の歴史・文化の保存・継承」の面でも大きな役割を果たすと考えられる。本調査研究は、2003 年後期より実施してきた調査内容の再確認、および新規調査であり、2008 年度末までに県内 44 ヶ所を「名水地」として、選定した。</p>

『目的』

本調査研究の目的は、2004 年度鳥取県環境学術研究振興事業「鳥取県の名水に関する調査研究」の調査結果を再確認するとともに、一部追加調査をおこない、県民に最新の水場情報を提供することにあつた。

『方法・手法』

今回の調査方法は、前回と同様、各水場における管理状況の把握、および現地でおこなう下記 ~ の簡易水質検査(パック法)と であり、これらの調査結果を水場ごとにデータシート化することにより、「管理状態がよく、誰でも汲め、飲める水場」を名水と定義した。

また、2008 年度後期からは湧水地の所在をより明確にするために、GPS 測定(緯度・経度・高度)を追加し、2009 年度中には名水地すべての測定を終了する予定である。

測定項目: 濁度 色度 臭気 味 水素イオン濃度 亜硝酸態窒素 全硬度
 残留塩素 鉄 亜鉛 4週後の水質外観検査(恒温槽 20 で養生)

『調査結果』



『まとめ』

今年度の調査研究では、水場 45 ヶ所を調査した。水質検査管理状態および水質検査結果などを勘案した結果、前回調査の名水地 48 ヶ所は 4 ヶ所減じ、上図の 44 ヶ所となった(2009 年 6 月現在)。

【来場者へのメッセージ】 本調査研究を通じて、多数の水愛好者の存在を知りました。が、一方では、過疎化する地域の水場もあり、案内板・水場の整備・パンフレット作成など、行政による支援も必要のように思います。

連絡先: 鳥取環境大学 建築・環境デザイン学科 教授 十倉 毅
 鳥取市若葉台北 1 丁目 1 - 1 TEL. 0857 - 38 - 6772 E-meil: t-tokura@kankyo-u.ac.jp

分野	環境	プレゼンタイム	無
----	----	---------	---